

平成 29 年度 第 1 回 学校協議会報告

【日 時】 平成 29 年 6 月 30 日（金）14 時～16 時 セミナーハウス 3 階研修室

【出席者】

学校協議会委員：岩井 英雅（元府立学校准校長）神戸 尚史（校医、産業医）
土 静江（北水会）西田 智子（PTA 定時制委員会副委員長）
准 校 長：大森 孝志
事 務 局：伊藤 牧子（教頭）北村 陽子（首席・養護教諭）林 雄大（教務主任）
庄司 樹生（生徒指導主事）中村 久子（進路指導主事）藤村 幸博（保健主事）
神原 優希（4 年学年主任）田代 興太郎（3 年学年主任）
和氣 裕祐（2 年学年主任）西本 裕幸（1 年学年主任）

- 1 開会
- 2 准校長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 協議

(1) 平成 29 年度 学校経営計画について

【准校長より資料について説明（資料参照）】

①授業がわかる喜びを伝える

【教務部より補足説明】

- ・各教科で自作の教材を工夫し、授業に臨んでいる。
- ・ICT 活用も少しずつ増加し、これまでに 120 回の授業で使用している。
- ・参加型のアクティブラーニングも定時制生徒にどこまで実施できるのか、教師間での認識の共有が今後の課題である。
- ・授業見学週間には、7 名参加。授業のビデオチェックは 5 名が活用した。

【1 学年の状況】

- ・新入生は、まずは授業に出席させることから始めなければならない。校内徘徊に対しては、生徒に寄り添う話し方で指導し、少しずつ入室できるようになっている。
- ・定期考査では 1 点でも点数を取ってほしいため、テスト期間中は放課後に担任が勉強会を開き、試験勉強のサポートをしている。

【中退防止コーディネーター】

- ・今年度は低学力生徒への支援について取り組んでいる。1 年生は中学校までの不登校経験等から英数国の学力差が大きいいため、4 月当初に学力診断テストを実施し、基礎クラスと標準クラスに分け、習熟度別に授業を展開している。

提言

- 個別のニーズに対応した授業で、勉強のわかる喜びをひとりでも多くの生徒に感じてもらう。
- ローマ字入力ができない若者が増えている。キーボードを使えるようになってほしい。
- ホームページを学校関係者しか見られないようにし、授業で使ったパワーポイントなどもアップするとよい。
- わからないことを、自分で解決する能力を養う。（例：検索力をつける）
- 授業の始めに、パワーポイントの資料を生徒に配付し、スライドの説明を聞きながら、メモを取らせるようにする。

②人に認められ人と理解しあえる喜びを伝える

【生徒指導部より補足説明】

- ・あいさつ運動も 3 年目を迎え、生徒からあいさつをすることが増えた。
- ・体育祭（6 月実施）の生徒参加率は 51%であった。保護者等家族の参加人数は 170 名。自分の体力や興味関心に応じて参加を促している。
- ・地域のボランティア清掃 30 名参加。さらに増やしていきたい。

【2 学年の状況】

- ・進級というハードルを越えて、授業にも入れるようになってきているが、気の緩みが出てきている生徒もいる。

- ・社会のルールや人権意識の大切さは、人間関係のトラブルにも役立つので、継続して指導していきたい。また、自分の行動が引き起こす周囲への影響についても生徒に考えさせていきたい。
- ・日程や予定の管理を自分自身でできるようにさせていきたい。(例：時間割管理)

提言

- 図書館をアクティブラーニングの場として活用してほしい。
- ネット情報よりも、文献が信頼できる場合もあるので、その意味でも、図書館を十分に活用してほしい。

③夢や志を抱く喜びを伝える

【進路保健部より補足説明】

- ・進路ホームルームやガイダンスを通して、系統的な進路指導を実践する。
- ・外部講師から受ける刺激が貴重である。
- ・進路決定率 62.3% (平成 28 年 3 月末) 今年度も 60%以上を目指したい。
- ・早期離職者 3名 ミスマッチを防ぐ進路指導をしていきたい。
- ・就業体験数は 5 月時点 35.3% (昨年度 65.8%)
- ・卒業生の活躍で、在校生のアルバイト求人が増える良い連鎖を増やしていきたい。

【3年生の状況】

- ・91名 (うち通信制 21名は、進学希望 5名、就職希望 5名、未決定 11名)
- ・保護者懇談を積極的に実施し、生徒の適性に合った進路を支援したい。

【4年生の状況】

- ・無理な進路決定をしないように、保護者、生徒とよく話し合い、少しでも夢に近づけるような進路支援をしたい。
- ・3年生のときに、自分自身の管理をできるように指導した結果、4年生になって職員室に色々と質問に来る生徒数が他学年に比べて少ない。

提言

- P T A 定時制委員会の活動内容をもっとアピールし、多くの保護者の方に知っていただく

④校内組織の活性化と人材育成

【首席より補足説明】

- ・校務検討委員会で教育活動全般について、学校としての方向性を検討していく。
- ・人材育成については、新任教員の座談会、定期的 (月 1 回) に職務に役立つ情報提供、また「少人数習熟度別授業」推進のための他校への研修を企画している。

【保健主事より】

- ・保健室に来室する生徒の相談内容によって、S S W、S C との連携で課題解決していく。
- ・生徒の自尊感情を高めるためのソーシャルスキルトレーニングやワークを通して、社会に出てから人との関係作りができるようにしていきたい。

(2) 分掌チャレンジについて

【准校長より資料について説明 (資料参照)】

- ・学校経営計画を実現するために、分掌の中での具体的な施策を掲げたものである。
- ・生徒側から学校をよくしていくための取り組みとして、生徒保健委員会の活動や体育祭の時の生徒によるボランティアスタッフの活躍があった。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携も活発にしている。

5 その他

平成 30 年度使用教科書選定・採択について (資料あり) 教頭より説明

今後の予定：第 2 回 11 月

第 3 回 2 月に予定